

牛の異常な行動

日々の農場において水槽の水をまき散らす牛、エサを放り投げる牛等々、このように変わった（異常？）行動をしている牛を見たことがあると思います。なんとなく、「ストレスを感じているのかなー」と思いつつも、なにが原因でそういう行動をしているのか真剣に考えたことのある人は少ないのではないでしょうか。今回はちょっと気になるこうした牛の異常行動について考えてみます。

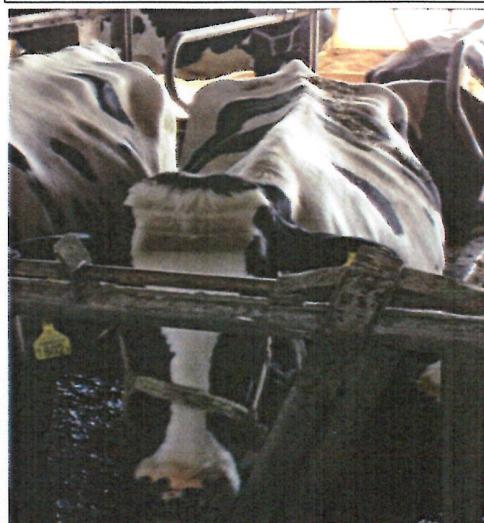
異常行動とは、「様式上、頻度上、あるいは強度上で正常から逸脱した行動」と定義され、繫留やストールなどの単調な環境、元来持つ行動様式に合致しにくいような施設・設備での長期飼育に伴う葛藤や欲求不満状態が持続した時に発現するもの（佐藤ら、2011）

牛の正常行動は大きく分けて以下の3つに大別されます。

- **維持行動**
 - 摂食飲水、休息、排糞排尿、なめる、嗅ぐ、噛む、群がり、パンティングなど
- **社会行動**
 - 発声、闘争、逃避、擦り付け、追いかけあい、追従など
- **繁殖行動**
 - 陰部かぎ、フレーメン、アゴのせ、尿なめ、動き回り、乗駕など

これら3つの行動は個体の維持に必要であり、その行動に強い欲求を持っています。つまり、これらの行動が発現できない飼養環境下ではストレスがたまり、異常行動を引き起こしてしまいます。

図1. 搔き上げた餌が背中に乗った牛



牛で観察される異常行動の代表的なもの

- **常同行動**： 繰り返す行動のうち、普通には認められないもの
 - 長期の葛藤や欲求不満を反映する。舌遊びや異物舐めがある。舌遊びをする牛ほど四胃潰瘍になる傾向が強く、また飼槽が水浸しになり、衛生上の問題も発生。
- **変則行動**： 本来持つ行動様式とことなる行動
 - 滑りやすい床では、起立から伏臥への移動が困難になる。犬のように座る「犬座姿勢」がある。犬座姿勢の長期化によって外陰部が糞尿で汚染された床に長時間さらされることになり、尿道感染や膀胱炎、流産の可能性も指摘されている。

- **異常反応**： 環境からの刺激に異常に反応したり、逆に全く関心を示さない反応
 - 単純な環境での飼育でしばしば起こる。群れから離れて立ちつくしたり、環境からの刺激に対して極度に無関心になる。
- **異常生殖行動**： 性的経験の不足や環境の不適正に伴う性的・母性的行動
 - 乗駕方向の異常や自分の子牛が吸乳しようとするときに母牛が蹴ったり、体位を変えたりする「授乳拒否」などがある。
- **その他**
 - 飼料を口にくわえたまま上に跳ね上げる「飼料搔き上げ」など

図2. 鉄柵をなめる子牛



これらの行動は集約飼育下では必然的に観察されるものです。しかし、その行動によって牛が我々に何かを訴えかけているということは確かです。最近変な行動をとる牛が多い。同じ牛だけじゃなく、何頭かが同様の行動をとる。そうした少しの疑問を感じたのなら、少しだけ周りの環境や哺乳回数、飼料の切断長などに一度気を配ってみてください。それは牛たちのアピールなのかもしれません。日々の仕事で「牛だけを見る」ということはなかなか難しいかもしれません、たまにはそのような時間をつくってみてはいかがでしょうか。

(参考：臨床獣医 2012 Sep など)

牛の個性と知性？！

農場に行くと、この牛はいつも横臥して寝るだとか、前脚を伸ばして寝る、鉄柵の間からいつも頭を出して反芻しているなど、一風変わった癖？を持った牛の話を聞きます。こうした癖をもった牛は上記の「異常行動」とは少し切り離して考えた方がよさそうです。先日、Y先生から牛のアメイジングな行動の動画を見せて頂きました。その動画では牛が自分でスタンチョンを開け、さらには隣の牛のスタンチョンも開けたり、舌を器用に使って鍵を開けたり、角を使って水道の蛇口を開けて水を飲んだりといった頭のいい牛たちが何頭か出ていました。たまに農場で人から撫でられるのが好きだったり人懐っこい牛もいますよね。子牛の時からの育て方、ふれあいの仕方などが影響しているのでしょうか…牛の知性については様々な研究がおこなわれていますが、私たちが想像するよりも彼女たちはずっと「知性が高い」(?) のかもしれません。

茅野 大志